

平成26年度 ほくぎん若手研究者助成金 研究実績報告書

氏名		所属・職名	助成金額
坪見博之		人文学部准教授	600,000 円
研究課題名	注意を引きつける色彩に関する実験心理学的研究		
研究の概要	[研究開始当初の背景, 研究の目的, 研究の方法等について記入] 色彩が我々の行動に影響を与えることは日常的にもよく経験するが、色彩の効果を実証する科学的データは 2000 年以降になるまで積み重ねがなく、統一した見解がなかった。これを背景に本研究では、「色彩による注意の引きやすさの違い」について、認知心理学の実証研究を行った。色彩輝度計を用いて色彩の物理的特徴を精確に統制しながら、さまざまな色彩の視覚手がかりをディスプレイに提示し、実験参加者が、「どのくらい速く手がかりに注意を引きつけられるか」と「どのくらい速く一度引きつけられた注意を引き離すことができるか」について検討した。予備実験も含め 54 名の実験参加者からデータを得た。		
研究の成果	[研究成果について具体的に記入] 実験では、赤・青・緑の色相について、彩度（鮮やかさ）も変化させながら、注意の引きつけやすさと引き離しやすさを検討した。反応時間を指標として検討した結果、赤は緑や青に比して注意を引き付けるスピードが速く、また、赤・緑・青のすべての色相に関して、彩度が高いほど注意を引き付けるスピードが速いことが示された。一方で、注意の引き離しやすさに関しては、色相と彩度の効果は見られなかった。赤が注意を引き付けやすい原因として、誘目性や日常生活における赤色の緊急性が考えられる。赤からは、血や火、熟れた果実が連想される。また、防火や禁止などの指標にも赤が用いられる。そのために、注意を引きつけるスピードが速いのではないかと考えられる。		
研究成果発表状況	[雑誌論文, 学会発表, 図書, 新聞掲載, 研究に関連して作成したWebページ, 産業財産権(特許権等)の出願・取得状況について記入] 現段階では学会、雑誌等での発表は行っていない。本研究では、赤色が注意を引きつけスピードが速いという一定の結果が得られたが、細かな実験条件設定において解決すべき点も見つかった。それらを再度検討し、成果が得られ次第学会等で発表を行う予定である。		
経費の執行状況	区分	執行額(円)	備考
	物品(備品)	591,948 円	色彩輝度計
	物品(消耗品)	321 円	ボールペン
	物品(消耗品)	691 円	USB フラッシュメモリ
	被験者謝礼	5,200 円	(クオカード 1000 円 x5 人分)
	書籍	1,840 円	カラーコーディネーターのための色彩心理入門
	計	600,000 円	